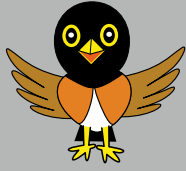


こっこめ通信 06 2017

「双眼鏡で探す？ルーペで見分ける？」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

今年のゴールデンウィークは大きな天候の崩れもなく、飛行機も定期船もすべて無事に就航しました。ビジターセンターの来館者数も多く、たくさんの方が行事に参加してくれました。体験八丈太鼓では何日も通って叩きに来てくれた小学生もいました。次の特別行事は7月8月の夏休みになります。ぜひご参加下さい。

先月号で紹介した冷水塊もすっかり抜け、水温も一気に23°Cまで上昇して碧い海が広がってきました！さて、今回は「船の上から探してみよう！」「シダ、始めますか？」のお話です。

船の上から探してみよう！

八丈島へのアクセスは、羽田空港から八丈島空港までの飛行機（ANA）、もしくは竹芝桟橋から三宅島・御蔵島を経由する船（東海汽船）の二通りになります（右地図）。飛行機はあっという間に着きますが、船は10時間と少し長めの航海。そこで船の上での楽しみを紹介したいと思います。

春から今の時期にかけて八丈島の航路は、アホウドリ類がみられることから鳥好きの人たちには人気のある航路になっています。八丈島に着いた船にそのまま乗って戻る人たちもいるほどです。（八丈上陸20分弱）

船の上から1番見られるのがオオミズナギドリ。御蔵島が最大の繁殖地なので大群で見られることもあります。八丈小島で繁殖を始めたクロアシアホウドリも比較的よく見られます。その他、アホウドリやコアホウドリ、カンムリウミスズメなども見られることがあります。運が良ければ御蔵島周辺に生息しているイルカ、回遊するクジラの姿も見られます。

海鳥たちは海面上の風の強さの差を利用するダイナミック・ソアリングという羽ばたかない飛び方をしています。大きなアホウドリ類が海の上を滑空している姿はとてまっかっこいいです。肉眼でも見えるかもしれませんが、船の旅には双眼鏡を持っていくのがオススメです。

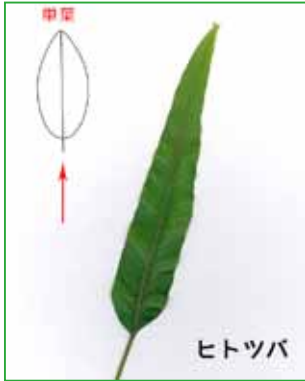
デッキで風に当たるのは気持ちがいいですが、酔い止めも忘れずに！



「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

シダ、始めますか？

八丈島はシダマニアにはたまらない「シダの宝庫」といわれています。ところで「シダ」って何でしょう？シダ植物は花が咲かず、胞子で繁殖するので隠花植物といわれます。隠花植物の中にはシダ植物の他にコケ植物が含まれます。また、シダ植物の体内には維管束と呼ばれる水分や養分を運ぶための組織があるので、維管束植物ともいわれます。維管束植物の中には花を咲かせ実を結ぶ種子植物が含まれます。要するに、維管束植物であって隠花植物でもあるのがシダ植物ということになります。



シダ植物はどれも同じに見えてしまうので敬遠しがちです。そこで今回は、上の4つのパターンの葉の形の中で1番分かりやすそうな単葉を紹介します。島の中では目に付きやすい8種類をピックアップしたので、この8種を探しながらいろいろなシダ植物を探してみたいか？シダ植物か、そうでないかは、葉の裏の胞子嚢群が付いているかで分かるはずですが（若い葉には付いていないかも）。触った感触も違うので、視覚だけではなく、触覚も使ってみてください。次回はもう少しシダらしいシダを紹介する予定です。



比較的目的に付きやすい人家の近くの石垣や木などにも着生している。根茎が目立たず、葉と葉は接している。(ウラボシ科)



ノキシノブに似ているが、葉柄が長く、葉の先が細くならない。標高の高い所で見られ、葉と葉の間隔も広い。(ウラボシ科)



胞子嚢を付ける葉が別で細長い。湿度の高い岩の上や樹幹に着生し、葉はとても厚い。根茎は細く枝分かれをする。(ウラボシ科)



根茎は短く這い、細長く硬い葉は密集して生え、下向きに垂れる。胞子嚢群は葉の縁に抱かれるように付く。(イノモトソウ科)



胞子嚢を付ける葉が別で細長い。根茎は固く、葉と葉の間隔は広い。葉全体に星状毛があるが、表面は無くなる。(ウラボシ科)



胞子嚢を付ける葉が別で細長い。葉柄がとても長く、脈が隆起してとても目立つ。葉と葉は接している。(ヤブレガサウラボシ科)



葉裏につく胞子嚢群は不規則に散らばって着く。根茎は長く伸び、葉と葉の間隔は広い。山地の樹幹や岩上に多い。(ウラボシ科)



根茎は長くなり、葉は長く、硬い。胞子嚢群は線形で平行に並ぶ。林床や湿った崖などに群生する。(メシダ科)

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものから季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や虫が見られるかも観察しています。今回は5月14日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成29年第5回）調査者：沖山美、大場、茂手木、VC菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			36	チチコグサモドキ	花	13	タイミンタチバナ	蕾
1	アオツツラフジ	蕾	37	ツメクサ	花と実	14	タブノキ	若い実
2	アオノクマタケラン	蕾	38	トウバナ	花と実	15	テイカカズラ	蕾
3	アツバスマシ	花	39	トキワツユクサ	花	16	トベラ	花
4	アワゴケ	花	40	ナギナタガヤ	花	17	ハゼノキ	蕾
5	ウスベニチチコグサ	花	41	ナンゴクネジバナ?	咲き始め	18	ハチジョウイボタ	蕾
6	ウスベニニガナ	花と実	42	ニラバラ	花	19	ヒメユズリハ	花
7	ウラジロチチコグサ	花	43	ニワゼキショウ	花と実	20	マサキ	蕾
8	オオシマカンスゲ	実	44	ヌカススキ	花	21	ヤナギイチゴ	実
9	オオニワゼキショウ	花と実	45	ヌカボ	花	22	ヤマモモ	実
10	オオバコ	花と実	46	ハハコグサ	花	シダ植物		
11	オニタビラコ	花と実	47	ハルジオオン	花			
12	オヤブジラミ	実	48	ヒナギキョウ	花と実	1	イシカグマ	
13	オランダミミナグサ	実	49	ヒメコバンソウ	花	2	オオイタチシダ	
14	カタバミ	花と実	50	ヒメジオオン	蕾	3	オオタニワタリ	新葉が展開
15	カニツリグサ	花	51	ヒメヨツバムグラ	花と実	4	オニヤブソテツ	
16	カモジグサ	花	52	フウトウカズラ	花	5	タチシノブ	胞子葉
17	カラスノエンドウ	実	53	ヘラバヒメジオオン	蕾	6	タマシダ	
18	キランソウ	花	54	マツバウンラン	花と実	7	トラノオシダ	葉身が20cm程
19	ケキツネノボタン	花と実	55	ムラサキカタバミ	花	8	ナチシゲシダ	
20	コケミズ	花	56	ヤエムグラ	実	9	ナンカイイタチシダ	
21	コケリンドウ	花	57	ヤマヌカボ	実	10	ノキシノブ	
22	コナスビ	花と実	木本			11	ハチジョウカナワラビ	
23	コマツヨイグサ	花				12	ハチジョウシダ	
24	コメツブツメクサ	花	1	アオキ	若い実	13	ハチジョウベニシダ	
25	コモチマンネングサ	花	2	アカメガシフ	花	14	ヒトツバ	新葉
26	シチトウスミレ	閉鎖花	3	イタビカズラ	実	15	ホシダ	
27	シロツメクサ	花	4	イヌビワ	実	16	マメツタ	胞子葉が目立つ
28	シロバナマンテマ	花と実	5	エノキ	実	17	ミゾシダ	
29	スズメノエンドウ	実	6	オオシマザクラ	実	今回はシダ植物17種を含む96種の植物を観察しました。空気が重く湿り気を帯び、梅雨が近い事を感じました。		
30	スズメノカタビラ	実	7	ガクアジサイ	蕾			
31	スズメノヤリ	実	8	クワ sp.	実			
32	セイヨウタンポポ	花	9	サカキカズラ	花			
33	タチイヌノフグリ	花と実	10	シマモクセイ	実			
34	チガヤ	花	11	スイカズラ	花			
35	チチコグサ	実	12	スダジイ	花			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、周辺海域で見られる「オキゴンドウ」にスポットを当ててみたいと思います。



オキゴンドウ

Pseudorca crassidens

ハクジラ亜目マイルカ科。熱帯、亜熱帯、暖かい温帯と広く分布しています。体長はオスで5m強、メスが4m強。先端が細く後方に向かう背ビレと丸い頭、黒い体で見分けやすいです。

八丈島周辺でも群れで泳ぐ姿を見ることがあります。その群れの中にハンドウイルカの群れが混ざることもあります。

2017 八丈ビジターセンター 6 プログラムカレンダー

日付の下に書かれているグラフは、八丈島（神湊）の潮汐のデータです。
満潮・干潮の時刻を表示しています。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
		この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります		☾ 1	2	3 ガイドウォーク
4 ガイドウォーク	芒種 5	6	7	8	9	10 ガイドウォーク
11 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	12	13	14	15	16	17 ガイドウォーク
18 ガイドウォーク	19	20	夏至 21	22	23	24 ガイドウォーク 八丈学講座 「海浜植物観察会」
25 ガイドウォーク	26	27	28	29	30	

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
6/11 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：15名

八丈学講座 「海浜植物観察会」

毎月行っている八丈学講座。海岸ならではの植物の観察会を行います。新しい発見はあるかな？
6/24 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
南原千畳敷海岸(当日変更の可能性有り)集合・解散 参加費：50円 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2017.6.1 第193号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入場無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

E-mail：info@hachijo-vc.com

http://www.hachijo-vc.com

編集後記

シダ植物はどれも同じに見えて敬遠してきました。でもやっと重い腰を上げ、一步踏み出してみました。するとどうでしょう！シダを観察することが楽しくなってきたのです。まだまだ同じに見えるものが多いですが、もう少し勉強して、また紹介できるように頑張ります！（高）